

第21回狂言発表会

3月10日(木)に、平之荘神社において、平荘小学校第21回狂言学習発表会を開催しました。コロナ禍で、年度当初は2月17日を狂言発表会の日に設定しておりましたが、まん延防止等重点措置の区域に指定され、3月10日の実施となってしまいました。

当日は天候もよく、子どもたちも精一杯力を発揮することができました。当日の参観者は、6年生の保護者の皆様(各家庭1名)と5年生、そして、来賓が若干名でした。1~4年生は、各教室でリモートによる参観をしました。

《当日の朝》

平荘狂言教室後援会の方々に、早朝より会場準備のお手伝いをさせていただきました。どうもありがとうございました。

6年生は、午前中に最終リハーサルを行い、その後、会場準備を後援会の皆様と一緒に行いました。



自主トレをしています

子どもたちは、午前中のリハーサル前に、各々で自主トレを行いました。

そして、山口耕道先生と朝のあいさつをした後はいよいよ最終リハーサル開始です。

後援会の皆様にも観ていただきながら、子どもたちは演技の最終調整を行いました。

《最終リハーサル》



平荘狂言教室
 後援会の皆様
 ありがとうございます。

《最終リハーサルを終えて》【山口耕道先生のお話より】

晴れの日…多くの人から祝福されて光栄を感じる特別な日。その人の人生において記念すべき日。



この調子を崩さないこと。必ず客席から反応があることを確信しました。自信を持つといいです。思い切ってやるといいです。一番楽しみにしています。

今日は、**晴れの日**です。特別な日にしてください。みなさんは、表現する楽しさをようやく見つけたような気がしました。2月28日のリハーサルから10日間、よく稽古をしたと思います。

最後に一つ、これを意識して演技をするともっとよくなります。それは、演技が終わった後に、1・2と心の中で数えて、その間は動かずに待つということです。そして、切り換えてお辞儀をするとメリハリがきます。

この調子で演技をすると、必ず観客から反応があります。あなたたちに、観ている人たちの気持ちがあひひしと伝わってきます。すると、役者（あなたたち）はのってきます。演技をしている時、その観客の反応にのっかって自分の力以上のものが出てくる場合があります。そういう状況になったら、思い切ってやってください。

後援会の皆様にあいさつをしました

後援会の皆様、そして、平之荘神社の皆様、いつも支えていただき、どうもありがとうございます。今日も、よろしくお願いします。



《会場づくりをしました》



6年生の子どもたちは、会場準備に感染対策と、自分たちでできることを、進んで行いました。本番が成功することを楽しみにしながら準備を行いました。

